

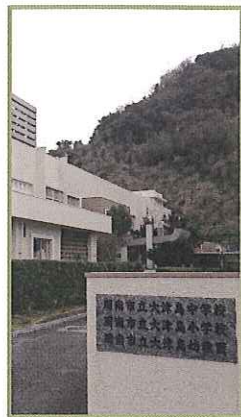
潮流



大津島(平成27年2月1日現在)
人口 318人(男136人 女182人)
高齢化率 75.8%

大津島の人々(11)

初めの卒業生達へ インタビュー



大津島中学校、休校予定。

この度、平成二十七年三月をもって、大津島中学校が休校となる予定です。
昭和二十二年。砲台山に第八中学校が設立され、六十八年という長い歴史の中で、千六百五十七名の卒業生がおり、今回卒業される「松本花織さん」が千六百五十八番目の卒業生となります。
そこで今回は、第八中学校初めの卒業生達に、松本さんがインタビューに行ってきた。「芋ばかり掘っていた」「弟を背負って遊びに行った」など、当時の島の様子や、学校生活について、貴重なお話を聞くことができました。
いつの日か大津島中学校が、再開されることを願い、今号の潮流をお送りします。

佐藤 哲生(さとう てつお)

私達の世代は、人数が少ないこともあり、一級上の学年と一緒に通いました。

休みの日は、父の漁の“かじこ”をして、仕事を手伝いました。遊びと言えば、自分で作った“独楽”をしてよく遊びました。戦後でも、島は各家庭で、麦や芋を作っていたので、お腹いっぱい食べることは出来ました。



松本 花織(まつもと かおり)

私の中学校での思い出は、部活です。バドミントンの練習はとてもきつかったですが、多くの力がつき、地域の方々に応援してただけで、とてもうれしかったので思い出に残っています。

そして、地域のみなさん幼稚園から中学校まで、応援してくださいったり、行事の協力をしてください、ありがとうございました。私の思い出はほとんどが地域のみなさんにご協力してくださったことなので、とても感謝しています。

岡田 末広(おかだ すえひろ)

あんまり勉強しなかったかな(笑)。学校に行っ
て、卓球や将棋をしたのを覚えている。

生徒動員から帰ったばかりで、少し生意気盛り
だったので、たまに喧嘩をしたこともある(笑)。

浜で芋を焼いて食べた。焼けるまで置いていたら、誰かにとられてしまうんだ。あと、海水から塩を作って怒られたこともあったけ(笑)。



佐々木 路香(ささき みちか)

中学校では、農業の時間があった。人糞で堆肥を作っていました。

我が家は、親子3代郵便屋なので、私も学校が休
みの日は、父の配達を手伝っていました。当時は、
まだ車も道路も無かったので、全て徒歩で配って
いました。

夜は、近所に住んでいた柴田先生の所に、勉強を
教わりに行っていました。



若者交流 ソフトバレースポーツ交流会 in 大津島



文=大津島ソフトバレー部
大友翔太



二月八日(日)若者交流 ソフトバレースポーツ交流会 大津島で開催しました。

市内の若者グループから、十五名が来島し、島側も合わせ総勢十九名で交流会を行いました。

今回が大津島ソフトバレー部にとって初めての主催イベントでした。当日は、雪もちらつく寒空の下、体育館中に、若い人の笑い声が響き合ひ、若者のエネルギーに満ち溢れていました。とても楽しく、充実した一日を過ごすことが出来ました。

次は、徳山の大会で彼らと再会し、その時こそは、一セットでも勝てるように、今よりも、少しだけ気合を入れて練習しよう、筋肉痛と関節痛をビリビリ感じながら、思うソフトバレー部一同でした。

砲台山 山頂 広々と視界良好になりました！！



平成二十六年の年末に、森林づくり県民税を活用して周南市中山間地域振興課の事業により、砲台山の山頂及びその周辺が、整備されました。

周囲をぐるりと見渡せば、宮市子、馬島集落、樺島、黒髪島と約三百度の展望がひらけています。

今後、みなみで環境美化をすすめましょう。文||六郎万淳一

お祝いに人気の胡蝶蘭をはじめ、蘭の花の種類の多さには驚かされます。バンダ蘭は、東南アジアの高地で生育し、樹木に着生して育ちます。



春は入学・就職・転勤・農作業・結婚など希望に満ちた新生活の始まる季節です。

桜前線が南から北へ移動して行き、華やいだ景色の中で人の心もやわらいでいきます。

バンダ蘭



一八六六年(明治維新の二年前)六月七日、大島への艦砲射撃から始まった第二次長州征伐を、長州では四境戦争と呼んだ。この大島口の他、芸州口・石州口・小倉口の四カ所から幕府軍が攻め込んだからである。

大島口では、一〇〇〇〜四〇〇トンの軍艦五隻、兵二〇〇〇からなる、当時東洋一と言われた幕府艦隊は、無人の野を行くが如くに大島周辺を荒らし廻った。

対する長州の軍艦は丙寅丸(へいじんまる)九四トン(大津島フェリーの2/3ほど)一隻のみ、つい一カ月前に高杉晋作が独断で長崎の英国商人から購入したものである。

六月一二日夕、三田尻の宿で寝転んでいた晋作は、ガバと跳ね起きるや丙寅丸に乗り込み、出し抜けに出撃を命じた。夜陰に乗じて島影伝いに海の街道を六〇キロほど東に走って、夜半に幕府艦隊の碇泊する周防大島の久賀沖に到る。

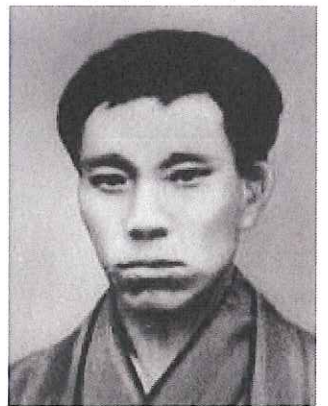
無敵の勝ち戦に酔いしれていた幕府軍は、ボイラーの火を落として眠りこけてる。

丙寅丸は幕艦に忍び寄り、目の前の壁を撃つように、至近距離から次々と大砲の弾を撃ち込んで廻った。大損害を被った幕府艦隊は潰走し、大島口の戦いは終わった。丙寅丸は夜明けに三田尻に帰港している。

晋作はとって返して小倉口でも陣頭に立ち、八月一日小倉城を落として四境戦争は終わった。

翌年五月、この希有の行動力の男、高杉晋作は、肺結核のため二七歳の生涯を閉じている。

海 の街道・十六 【高杉晋作】



写真真 国会図書館蔵
文=末兼正純

知っちよるかね



「さよならさんかく」

文＝松本 千恵子

さよならさんかく。また来て四角、、、。我が大津島中学校が今年度で休校になるかも。何とも残念無念。

きつとたくさんの人が同じ思いでいると思うけど、時代の流れに竿挿す術のない庶民にはただこの時を見守るしかないのが

なんと切ないね。青春前期のみずみずしい心を育ててくれた大津島中。今でもありありと思ひ浮かぶ友達や先生の顔やたくさんの出来事。

通学途中の景色や人々。思い出だけでなく、中学校は地域の文化の拠り所でもあったよね。運動会、文化祭、地域に支えられた沢山の行事。その度毎の新し

い刺激に目を開かれたり、学校と地域互いに実りを感じちよったりもしたね。そんな中学校が休校になるかもしれないのは、地域にとっても大きな損失じゃと残念でならんね。

さよならさんかくは明日会う約束のさようなら。その日がいつか来ますように。様々な時代を経てそれぞれの思いを胸に今はありがとうおやすみなさい、大津島中。

最後に今日まで大津島中学校に関わって下さったすべての人に心から感謝申し上げます。あなた方のおかげで今日の大津島中学校があります。ありがとうございます。あ

三月は卒業や異動の季節です。転勤を命ぜられた私も机の中を整理していたら、以前三学年合同で行った中学校同窓会の写真が出てきた。大津島中学校が、長年の島内清掃活動が認められ環境庁長官表彰を受けたことが話題になったことをふと思い出した。

中学時代、部活動のみならず、陸上、駅伝、相撲とみんなが一人何役もやっていた。中学三年の時、卒業にあたって何か自分たちに出来ることはないかと話し合い始まった「大津島クリーン作戦」。まだ島で今のように分別収集もなかった時代。PTAや地域の方々のご協力もあり、出るわ出るわゴミの山。多感な頃の面白さあり、ハプニングありの大イベントでした。礎がここにある。

中学校を卒業して三十四年、今は「若潮の会」に集うようになり、大同窓会もやってみたいし、大津島の良き歴史・伝統・文化を守り伝えたい。

そんな年まわりになったんだなあ。



「礎と共に」

文＝佐々木 照彦

ひろしのつぶやき



「石屋の昔語り」

文＝屋野 廣志

大阪城築城が西暦一六二〇年というからには、大津島の採石の歴史も古い。だが、その記録やその経過作業動向などは我々では知ることができぬが、であったろうかということは、採石跡や地形を見て想像することはできる。

瀬戸浜・白浦・倉ノ窪周辺の海岸は何千年間の風波浸食により、洗い出された大小様々な転石が山積みされ、その転石はその原形のまま積石に適し、長方形に加工した隅角石も六面を削り取るだけで、出荷できたのではないだろうか。

だが、その巨石を移動する手段は大変なことであつたらう。人力と梯子

と転コロと盛土ではなかつたらうか。

海路を運ぶ筏づくり、巨石を固定する網、これは、藁か葛か、または腐食しないシュロだろうか。女性の頭髪とも聞いている。

潮流と風力と櫓と樗で、島影を巡る筏の群れ。何十日も海の上にいる水夫達。目的地に届いた筏はいかほどであつたらうか。

石屋の神様が持っていたという白扇で、大津島を安全な島に、と大きくあおいではくれぬか。

潮流編集委員 大募集!

一緒に、取材や執筆しましょう! 四月一〇日までに、大津島支所へご連絡をお待ちしています。



「近江より」

話＝石田 輝正



昨年一年間で、近江巖島神社には、外からの参拝者が二百人以上来た。恐らく大津島のお宮の中で、最も外からの参拝者が多いお宮だろう。

秋祭りの頃、お賽銭を数えるため、賽銭箱を開けてみると、中には見知らぬ硬貨が二枚あった。初めは「あれ？これは違うのお。ゲームのコインか？」と思ったが、よく見ると、「ウォン」と書いてあり、韓国のお金だと分かった。「まさかウォンが入っているとは、これで大津島の近江も国際的になった」と思った。

昨年は、参道にある「重ね巖」周辺の整備に力を入れてきた。ねこ車で百杯分の砂利を運び、土の部分に敷き詰めランマーで叩いていった。

これからは、島を訪れた人たちに、より近くで重ね巖を見てほしい。島の人達にも、今までより身近に感じてほしい。何より、遊びに来た子供達が、重ね巖の上で遊んだり、お弁当を食べたりする情景が今から目に浮かんでくる。楽しみだ。

重ね巖の周りには、柿木と二本の山桜の木が自生し、春には美しい花を咲かせる。今年も、近江集落の入口や、参道から灯籠の間にレンゲの種を蒔いた。五月頃に見ごろを迎える予定だ。来年は、重ね巖周辺にも、レンゲの種を蒔こうと思っている。

是非皆様、春は近江の花々や、重ね巖、巖島神社を見に、足を運んでみてください。 (聞き手 大友)

～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼
平成26年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

- 預託者 佐々木 幸男 様
亡母 佐々木 アイ子 様の香典返しとして
金 5万円 (市社協 10,000円 大津島社協 40,000円)
- 預託者 野間 久生 様
亡母 野間 喜代子 様の香典返しとして
金 10万円 (市社協 20,000円 大津島社協 80,000円)

市嘱託職員募集 (大津島ふれあいセンター)

【募集内容】

- 勤務場所：大津島ふれあいセンター
- 業務内容：管理運営業務 (現場責任者)
- 対象定員：採用後に大津島に住める方 1名
- 雇用期間：4月1日～平成28年3月31日
- 勤務日数：月17日
- 勤務時間：8時30分～17時15分
- 報酬：月額116,900円 (条件により通勤費、社会保険、雇用保険適用有)
- 選考方法：面接 ※日時は後日お知らせします
- 申込み：3月6日 (金) までに履歴書を大津島支所または中山間地域振興課に提出してください
- 問合せ先：周南市中山間地域振興課 (34-3572)

平成27年度 大津島巡航利用券を交付します

- 対象者：75歳以上の大津島地区住民
- 交付枚数：24枚
- 申請方法
大津島支所、または市役所本庁生活安全課の窓口で申請できます
保険証・運転免許証等、本人確認のできる書類をお持ちください
- 受付期間：3月16日 (月) から
- その他
 - ・平成27年度中に75歳を迎えられる方は、誕生日以降の申請となります
 - ・5月以降の申請の場合、来年3月までの月数×2枚分になります
 - ・代理人による申請も可能です
 - ・利用券は4月1日から使用することができます

移動図書館<やまびこ号 Jr.>

- 3月18日 (水) 4月17日 (金)
- 馬島巡航待合所 11:30～12:00
- 刈尾巡航待合所 12:20～12:50

編集後記 2月11日 (祝) にふれあいセンターで開催した奉祝行事に、60名を超えるご参加を頂き、ありがとうございます。ヤキソバ美味しかったですね。



大津島の最新情報 更新中!!
<http://shunan-inaka.jugem.jp/>